

【初試み】成田空港と無料高速バス運行！ 観光地を結ぶ

詳細な分析はこれから 市町村と連携して 来年度の事業化検討。

【ほんま進】今年度初の試みとして、地方創生の交付金で実施した成田空港からの無料バスの実証運行について、現時点でわかる範囲で構わないが、運行実績はどうであったか。

交通計画課長から成田空港と県内観光地を結ぶ無料高速バスの実証運行は、8月17日から9月30日までの45日間運行して、10、860人に利用いただき、利用率で見ると約25%で、平均すると1台当たり40席のうち10人の方に利用頂いたという状況です。利用の傾向としては、スタートからしばらくは低調でしたが、曜日別では、土曜日、日曜日、祝日の利用が多く、期間中の15日間で4、525人、率で見ると31.4%の利用です。特にシルバーウィークの5日間については、1、846人で、1日当たりの平均約370人、1台当たり約15人、率にすると約38%の利用であり、平日以外の利用は比較的多かったと考えています。

また、ダイヤ別では、各ルート4便のうち、成田空港を最初に出る便と館山、鴨川、銚子の現地側を最後に出る便の利用者が多く、成田空港からの第1便と、現地からの第4便に限ると、平日も含めた45日間の平均で1台当たり約16人、率で約41%の利用という状況です。

なお、詳細については今後、利用者アンケートなどを含めて分析、検証していきたいと考えています。

【ほんま進】

今回の事業は、地方創生の交付金を活用して実施したわけであり、各市町村の役割も重要であると思うが、市町村とどのように連携して取り組んだのか。

交通計画課長から今回の事業の目的の一つに各地域の魅力の再発見があり、沿線市町村には、パンフレットやホームページを活用して、観光スポットや停留所からの観光モデルコースの設定、またPRに関して積極的な協力をいただいていたと考えています。

また、観光を振興する上で重要な停留所からの二次交通として、例えば、いすみ市では停留所を降りてからのタクシーの利用に対する助成や、銚子市では観光シャトルバスを期間中の平日も運行していただくなど沿線市町村には観光施設などにおける様々な特典も用意していただいていたと考えています。

京葉線とりんかい線の相互直通運転 県民の期待が大きいことから 7月国へ、8月JRへ、粘り強く要望

【ほんま進】前号に引き続き総合企画水道常任委員会において、京葉線とりんかい線の相互直通運転について質問しました。

【ほんま進】京葉線とりんかい線の相互直通運転について、6月の当委員会でも質問したところですが、その後の取り組み状況について、お聞かせ願いたい。

交通計画課長から京葉線とりんかい線の相互直通運転につきましては、6月の委員会、5月の関東知事会において、相互直通運転の実現に向けた要望を行っていることと答弁させていただきました。

その後、7月に「平成28年度国の施策に対する重点提案・要望」として、相互直通運転に係る鉄道事業者の協議の加速化や乗車経路の判別技術の開発などについて、国に対し要望を行っています。

また、8月には、「千葉JR線複線化等促進期成会」において、工業用水事業について質問をしました。

9月豪雨 水道局浄水場への被害ゼロ 九都県市合同防災訓練を通じ 実践的な連携を強化

【ほんま進】9月の豪雨では各地で大きな被害があったが、水道局ではどのように対応したのか。

また、このような災害に備えるための取り組み状況はどうか。

水道局技術部長より今回の災害では、水道局の浄水場などへの被害はありませんでした。

一方、被害のあった茨城県などへの応援に備え、直ちに給水車を派遣する体制を整えるとともに、各地での提案を予定しています。

各浄水場の発生土に含まれる放射性物質の濃度

浄水場名	採取日	濃度
柏井(東)	H27.9.30	170
柏井(西)		101
北総		190
ちば野菊の里		195
福増		9 (H27.9.7採取) (Bq/kg)

被害情報を収集しましたが、当局への応援要請までには至りませんでした。

マレーシア・タイで相互理解・親交など 知事がトップセールス、 相互信頼関係に一定の成果。

【ほんま進】知事からトップセールスでマレーシア・タイに行ってきたが、国際課長として成果についてどう思っているのか。

国際課長から今回のトップセールスの成果について、国際課の観点から言いますと、国際交流・国際協力があがり、知事は要人から草の根交流までいろいろなところに突破口を開けようとしています。

今回の訪問では、信頼関係を築くということに関しては、大きな成果があったものと思っております。